

## 「バルクレオロジー測定による塗布感触評価の試み」

資生堂 GIC 中村綾野

化粧品において塗布という行為は、ほとんどの場合、お客さま自らの手で行うものである。そのため、化粧品を評価する上で使用時の感触が重要な役割を担っている。塗布膜としての機能がどれだけ優れていようとも、塗布時および塗布後において不快を感じさせるものはお客様からの支持を得ることが出来ず、製品として成り立たない。したがって、感触の良さというのが製品開発において重要な要素の一つである。このような感触を大きく左右する材料として増粘剤がある。その増粘機構によってさまざまな感触コントロールが行われている。また、感触をコントロールする上で、客観的にそれらを評価する手法が必要となる。本発表では、化粧品において使用される増粘系について紹介し、レオロジーパラメーターによって感触の定量化を試みた事例について紹介する。